

**教育施設等の除去土壌を搬出
現地保管から各地域の仮置き場に**

市では、これまで現地保管となっていた教育施設等（小・中学校、幼稚園、保育園、児童クラブ）の除去土壌等を、各地域（白河・表郷・大信・東）の仮置き場に搬出します。白河・大信地域は夏休み期間中に、東地域は冬休み期間中に完了する予定です。なお、表郷地域は平成25年度に搬出が完了しています。また、市営住宅や公園、集会所などの公共施設のほか、ホットスポット除染で敷地内に埋設保管している除去土壌等も計画的に搬出していきます。



▲搬出作業の様子（白四小／7月22日）

**表郷公民館建設事業安全祈願祭
多様な交流スペースを整備**

7月11日、表郷公民館建設地（表郷番沢）で、工事の安全祈願祭が行われました。出席した鈴木市長は「老朽化に加え、震災でダメージを受け建て替えとなりました。地域力を高める施設として活用されることを願います」とあいさつしました。新公民館は鉄筋コンクリート造りの平屋建てで、延べ床面積は1,327㎡。事務室や集会室に加え、新たにトレーニング室や音楽室など、多様な交流スペースが整備されます。完成は3月の予定です。



▲くわ入れをする鈴木市長

**青少年健全育成推進大会
日ごろの思いを率直に表現**

7月7日、市民会館（手代町）で「白河市青少年健全育成推進大会」が開催されました。「少年の主張」では、市内各中学校の代表生徒8人が、日ごろの思いを中学生らしい率直な言葉で表現し、会場に詰め掛けた在校生や市民の方々は熱心に耳を傾けていました。また、審査の結果、市長賞には小貫穂乃花さん（表郷中3年）が選ばれました。小貫さんをはじめ上位入選した5人の生徒は、県大会への出場候補者として推薦されます。



▲日ごろの思いを発表する生徒

まちの話題やイベント
を皆さんに

まち
Topics



▲願いを込めながら裏込め石を置く親子

**小峰城石垣復興イベントを開催
裏込め石に込められた思いが石垣を支える**

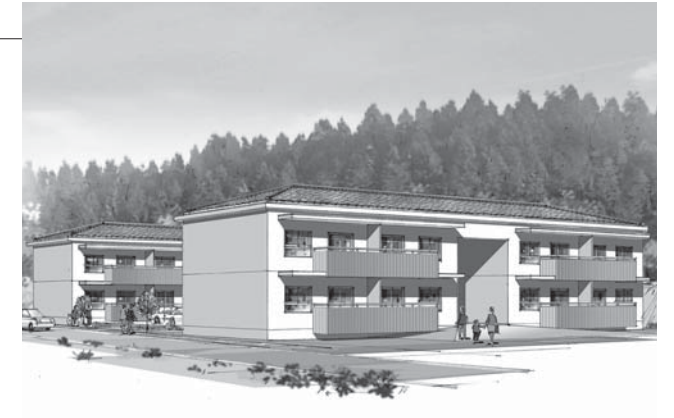
7月6日、小峰城で石垣修復現場の一般見学会にあわせ、石垣復興イベントが開催されました。このイベントは、「小峰城城郭復元基金」に寄付（一口200円）していただいた方に直径15cmほどの「裏込め石」を配り、それぞれの思いを書き込んで石垣の後ろに積み上げることで「みんなの思いが石垣を支える」との意識を持ってもらおうと企画されたものです。参加者たちは、「早く復元しますように」「壮大な姿が見れますように」など様々なメッセージを書き込み、願いを込めながら丁寧に石を積み上げていました。なお、一般見学会は毎月第一・第三日曜日に開催しています。



▲思いを書き込む参加者

**葉ノ木平災害公営住宅建設事業安全祈願祭
3月末の完成を目指し建設を開始**

7月16日、葉ノ木平災害公営住宅建設地（葉ノ木平）で、工事の安全祈願祭が行われました。この建物は、東日本大震災で住宅を失われた方が安心して暮らすことができるよう建設するものです。建物は2階建ての鉄筋コンクリート造りで、2棟16戸、延べ床面積は951.10㎡。1階部分はスロープ、手すり、玄関引戸など、バリアフリーに配慮するほか、建物中央に居住者同士が交流できる共用空間を設けます。完成は3月末の予定です。



▲建設される災害公営住宅（完成予想図）